



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年5月12日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ 上場取引所 東  
 コード番号 2160 URL <http://www.gnipharma.com>  
 代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役代表執行役CFO (氏名) トーマス・イースト (TEL) 03-6214-3600  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	309	33.2	△108	—	△261	—	△271	—	△284	—	△295	—
27年12月期第1四半期	232	—	△115	—	△148	—	△148	—	△152	—	△124	—
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
			円 銭				円 銭					
28年12月期第1四半期			△2.50				△2.46					
27年12月期第1四半期			△1.35				△1.32					

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
28年12月期第1四半期	6,075		4,836		3,640		59.9	
27年12月期	6,385		5,127		3,835		60.1	

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭		円 銭		円 銭	
27年12月期	—		—		0.00	
28年12月期	—		—		—	
28年12月期(予想)	—		—		0.00	

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,525	50.1	△410	—	△455	—	△456	—	△499	—	△4.40	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	113,673,831株	27年12月期	113,673,831株
28年12月期1Q	3,189株	27年12月期	3,189株
28年12月期1Q	113,670,642株	27年12月期1Q	113,258,975株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。しかしながら、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 研究開発活動	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	6
3. 要約四半期連結財務諸表	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
要約四半期連結損益計算書	8
要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(事業セグメント)	12

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

## (1) 経営成績に関する分析

当社グループは、日本、中国及び米国を中心に、アジア及び世界で線維症関連治療薬の研究開発、製造及び販売事業を展開するグローバル製薬企業です。当社の主な収益源は、中国で上市した特発性肺線維症（IPF）治療薬であるアイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：Etuary®（一般名：ピルフェニドン）〕の売上収益です。当社グループが保有する複数の開発パイプラインは、線維症の革新的な治療薬を中核とし、放射線性肺炎（RP）、糖尿病腎症（DN）、肝硬変・慢性肝不全急性化（ACLF）及び急性前骨髄球性白血病（APL）を含む治療薬に集中しています。当社は、主として中国において臨床試験を実施しておりますが、当連結会計年度中に米国市場での追加的な臨床試験プログラムを開始する予定です。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下の通りであります。

## ① 四半期連結経営成績

## 四半期連結経営成績概要

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減
売上収益	232,642	309,840	77,197
売上総利益	166,378	260,536	94,158
営業利益（△損失）	△115,144	△108,003	7,141
四半期利益（△損失）	△148,708	△271,869	△123,160

## 売上収益及び売上総利益

当第1四半期連結累計期間の売上収益は、前年同期比約33.2%増加の309,840千円となりました。当社の重要な医薬品であるアイスーリュイの売上は、売上収益全体の85%以上を占めております。利益率は改善し続けており、売上総利益は、前年同期比約56.6%増加の260,536千円となりました。

当第1四半期連結会計期間のアイスーリュイの売上収益は265百万円となり、前年同期の161百万円と比べて約64.6%の増加となりました。また、前第4四半期連結会計期間と比べ、約14.7%の増加となりました。

## アイスーリュイ 四半期毎の売上収益推移（2015年4月～2016年3月）

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間
売上収益	201	190	231	265

当第1四半期連結累計期間には、中国ベスーン基金の患者助成プログラムを通して、アイスーリュイ生産量の約30%がIPF患者の方々へ配布されました。中国ベスーン基金運営委員会により運営される当プログラムは、治療を必要とする最大限の患者に新たな治療法を提供するという当社の長期的なコミットメントの一環であり、経済的に恵まれないIPF患者の方々へアイスーリュイを提供するものです。

## 営業利益（損失）

当第1四半期連結累計期間の営業損失は、前年同期の115,144千円の損失と比べ、7,141千円改善し、108,003千円の損失となりました。営業利益の改善は、主として、売上総利益率の増加と営業経費を慎重に管理したことによるものです。

## 四半期利益（損失）

当第1四半期連結累計期間の四半期損失は、前年同期の148,708千円の損失と比べ、123,160千円増加し、271,869千円の損失となりました。これは、主として、当社が保有する金融資産と負債に対する営業外の為替差損119,709千

円によるものです。

販売費及び一般管理費、研究開発費の明細

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減
販売費及び一般管理費	△230,070	△283,715	△53,645
人件費	△67,202	△83,279	△16,077
その他の支払手数料	△84,819	△129,533	△44,714
研究開発費	△52,058	△73,562	△21,503

当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ53,645千円増加し、283,715千円となりました。これは、アイスリーユイの売上増加に関連した、その他の支払手数料の増加及び北京コンチネント薬業有限公司(北京コンチネント)における営業人員の増強によるものです。研究開発費の21,503千円の増加は、F351の第2相臨床試験及びアイスリーユイの適応症である放射線性肺炎(RP)の第3相臨床試験に先行するパイロット試験等の中国における臨床試験によるものです。

金融収益、金融費用及び持分法による投資利益

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	増減
金融収益	2,542	5,597	3,054
金融費用	△4,831	△125,257	△120,425
持分法による投資利益(△損失)	△31,274	△34,324	△3,049

金融収益

当第1四半期連結累計期間の金融収益は、前年同期の2,542千円と比べて、3,054千円増加し、5,597千円となりました。これは、当期の受取利息が増加したためです。

金融費用

当第1四半期連結累計期間の金融費用は、前年同期の4,831千円と比べて、120,425千円増加し、125,257千円となりました。これは、円高により、当社及び連結子会社が保有する外貨建ての資産及び負債の評価減を行ったことから発生した、営業外の為替差損によるものです。

持分法による投資利益(損失)

当第1四半期連結累計期間の持分法による投資損失は、前年同期の31,274千円と比べて、3,049千円増加し、34,324千円となりました。これは、米国のIriSys, LLCへの投資に関連するものであります。

② 地域別セグメント情報

日本 - 当第1四半期連結累計期間の日本における売上収益は、前年同期と比べて2,093千円減少し、6,367千円となりました。セグメント損失は、前年同期と比べて4,206千円減少し、82,959千円となりました。

中国 - 当第1四半期連結累計期間の中国における売上収益は、前年同期と比べて78,928千円増加し、310,301千円となりました。セグメント損失は、前年同期と比べて13,088千円減少し、11,929千円となりました。

米国 - 当第1四半期連結累計期間の米国におけるセグメント損失は、前年同期の2,961千円に対し、13,086千円となりました。

## (2) 財政状態に関する分析

## 連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減
資産合計	6,385,579	6,075,309	△310,269
負債合計	1,257,723	1,238,879	△18,843
資本合計	5,127,855	4,836,429	△291,425

## 資産合計

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて310,269千円減少し、6,075,309千円となりました。これは、主として、営業損失の計上による現金及び現金同等物の減少と非流動資産の減少によるものです。

## 負債合計

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて18,843千円減少し、1,238,879千円となりました。これは、その他の流動負債の減少によるものです。

## 資本合計

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて291,425千円減少し、4,836,429千円となりました。これは、主として、利益剰余金の減少によるものです。

## 連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△200,386	△229,695	△29,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△906,134	△73,237	832,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	243,404	64,728	△178,676

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの支出は、前年同期の200,386千円と比べて29,308千円増加し、229,695千円となりました。主な支出は、税引前四半期損失261,987千円並びに営業債権及びその他の債権の増加によるキャッシュの減少79,330千円であります。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの支出は、前年同期の906,134千円と比べて832,897千円減少し、73,237千円となりました。主な支出は、定期預金預入支出の73,211千円であります。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの収入は、前年同期の243,404千円と比べて178,676千円減少し、64,728千円となりました。主な収入は、長期借入による収入75,228千円であります。

## (3) 研究開発活動

## ■アイスーリュイ

## 放射線性肺炎(RP)

当社グループは、アイスーリュイの2番目の適応症である放射線性肺炎(RP)治療薬の、第3相臨床試験前パイロット試験を実施しております。これは、多回投与、多施設での試験を行うもので、2016年3月末現在、3人の患者の組み入れが終了しており、合計10の施設が当試験に参加する予定です。

## 糖尿病腎症(DN)

当社グループは、アイスーリュイの3番目の適応症である、糖尿病腎症(DN)治療薬の治験許可(IND)申請を行いました。当申請については現在、中国国家食品薬品監督管理総局(CFDA)が評価・検討を行っております。DNは、中国の糖尿病患者のうち、約5分の1が発症するとされる疾患です。DN治療薬は、既承認薬であるアイスーリュイの追加適応症であるため、承認取得後は、直接、第2相または第3相臨床試験から開始できる可能性があります。

## 結合組織疾患を伴う間質性肺疾患(CTD-ILD)

アイスーリュイの4番目の追加適応症は、結合組織疾患を伴う間質性肺疾患(CTD-ILD)です。CTD-ILDは、肺の炎症もしくは線維症、またはその両方を引き起こします。当社グループは、CTD-ILD治療薬についてのIND申請を2014年12月にCFDAに行いましたが、承認取得後は、直接、第2相または第3相臨床試験から開始できる可能性があります。

## ■F351(肝線維症等治療薬)

F351は、当社グループのパイプラインの中でも重要な創薬候補化合物で、臨床開発活動を世界の主要医薬品市場で展開する当社戦略に必要不可欠なものです。F351は、アイスーリュイの誘導体である新規創薬候補化合物です。内臓の繊維化に重要な役割を果たす肝星細胞の増殖及びTGF- $\beta$ ベータ伝達経路の両方の阻害剤で、当社の連結子会社である上海ジェノミクス有限公司における多様な動物試験において、肝線維症及び腎線維症に対して顕著な有効性を示しました。当社グループは中国、日本、豪州、カナダ、米国、欧州各国を含む主要な国でのF351の特許権を保有しております。

中国 - 当社グループは、中国において、F351の肝線維症治療薬としての第2相臨床試験を行っておりますが、これは、慢性B型肝炎ウイルス感染による肝線維症の治療におけるF351の安全性及び有効性を検証するもので、中国全土のクラスAAAの13の病院が参加し、240人の被験者に対して、無作為、二重盲検、プラセボ、多回投与、多施設での試験を行うものです。2016年3月末日現在、15の施設で、63人の被験者登録が行われています。

米国 - 2016年3月11日、当社は、肝線維症治療薬としてのF351(ヒドロニドン)の米国におけるIND申請を米国食品医薬局(FDA)に対して行いました。

## ■タミバロテン(急性前骨髄球性白血病(APL)治療薬)

タミバロテンは、急性前骨髄球性白血病(APL)治療薬です。APLは、急性骨髄白血病の一種で、前骨髄球が「がん化」する白血病です。タミバロテンは、白血病が有するPML/RAR $\alpha$ という異常分子に特異的に働く分子標的薬で、抗がん剤治療とは異なり、白血病細胞を破壊するのではなく、より成熟した細胞に分化させることで治療効果を発揮します。また、タミバロテンは、オールトランス型レチノイン酸(ATRA)耐性を獲得し、トレチノインに反応しなくなったAPL症例に対しても効果があることが期待されております。

東光薬品工業株式会社と当社子会社のGNI-EPS(HONG KONG) HOLDINGS LIMITED(GNI-EPS)は、2015年10月に、アムノレイク錠2mg(一般名:タミバロテン)を、輸入薬として、CFDAに登録申請を行いました。輸入薬登録は、CFDAによる評価・検討の進捗にもよりますが、申請から1~2年ほどで承認される見込みです。

## ■F573(急性肝不全・慢性肝不全急性化(ACLF)治療薬)

急性肝不全・慢性肝不全急性化(ACLF)治療薬F573は、アイスーリュイ及びF351に続く3つ目の新薬候補化合物で、当社グループは、2011年7月にCFDAにIND申請書を提出しております。F573は、ジペプチド化合物で、細胞死や



炎症反応をもたらす酵素の一種であるカスパーゼを阻害する可能性を持つものです。大規模な肝細胞死は、多くの場合、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、アルコール性肝硬変に起因する重症肝炎と関連して発生しますが、中国では、B型肝炎ウイルスに起因する肝疾患の患者が、世界的に見ても多く存在しています。この治療法としては、現存する抗ウイルス剤による治療以外の選択肢は限られており、最終手段である肝臓移植は、大変高額な治療であります。

F573 は、米国企業EpiCept Corporation (現Immune Pharmaceuticals, Inc.) からライセンスの供与を受けたものであり、当社グループは、アジアにおいては、中国、日本、豪州及びニュージーランド他の権利を保有し、更には、その他の地域の権利も取得できる優先権も保有しております。

■その他

以上のパイプラインの他、2015年12月には、当社の連結子会社である北京コンチネントが、酪酸ヒドロコルチゾンの温度により制御されるフォーム製剤（外用薬）のIND申請書を北京市食品薬品监督管理局に提出し、受理されております。当フォーム製剤は、湿疹、乾癬、接触性皮膚炎等の外用薬として、北京コンチネントとGENEPHARM Biotech Corp.（台湾企業）により共同開発されたものです。承認されれば、これは中国で初めての温度により制御されるフォーム製剤となります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2016年2月15日の「平成27年12月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表した予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。



## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2016年3月31日)
<b>資産</b>		
非流動資産		
有形固定資産	743,407	693,242
のれん	150,226	141,944
その他の無形資産	276,122	239,241
持分法で会計処理されている投資	725,648	687,311
繰延税金資産	18,348	17,379
その他の金融資産	65,971	64,255
その他の非流動資産	389,996	356,715
非流動資産 合計	2,369,720	2,200,090
流動資産		
棚卸資産	175,068	185,996
営業債権及びその他の債権	64,525	143,268
その他の金融資産	712,392	745,579
その他の流動資産	41,151	46,510
現金及び現金同等物	3,022,720	2,753,864
流動資産 合計	4,015,858	3,875,219
資産 合計	6,385,579	6,075,309
<b>負債及び資本</b>		
非流動負債		
借入金	469,043	510,061
その他の非流動負債	171,741	162,843
非流動負債 合計	640,784	672,904
流動負債		
営業債務及びその他の債務	108,310	111,336
借入金	209,174	197,005
未払法人所得税	17,329	26,529
その他の流動負債	282,124	231,103
流動負債 合計	616,938	565,974
負債 合計	1,257,723	1,238,879
<b>資本</b>		
資本金	5,828,953	5,828,953
資本剰余金	5,788,953	5,788,953
自己株式	△155	△155
利益剰余金	△7,837,526	△8,121,790
その他の資本の構成要素	55,149	144,235
親会社の所有者に帰属する部分合計	3,835,374	3,640,196
非支配持分	1,292,481	1,196,233
資本 合計	5,127,855	4,836,429
資本及び負債の合計	6,385,579	6,075,309

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
売上収益	232,642	309,840
売上原価	△66,264	△49,303
売上総利益	166,378	260,536
販売費及び一般管理費	△230,070	△283,715
研究開発費	△52,058	△73,562
その他の収益	606	249
その他の費用	0	△11,511
営業利益(△損失)	△115,144	△108,003
金融収益	2,542	5,597
金融費用	△4,831	△125,257
持分法による投資利益(△損失)	△31,274	△34,324
税引前四半期利益(△損失)	△148,708	△261,987
法人所得税費用	-	△9,881
四半期利益(△損失)	△148,708	△271,869
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△152,759	△284,263
非支配持分	4,050	12,394
1株当たり四半期利益(△損失)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	△1.35	△2.50
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	△1.32	△2.46

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
四半期利益(△損失)	△148,708	△271,869
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	24,330	△23,936
その他の包括利益合計	24,330	△23,936
四半期包括利益合計	△124,378	△295,805
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△125,333	△199,557
非支配持分	955	△96,248

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		合計
					新株予約権	在外営業活動体 の換算差額	
2015年1月1日残高	5,805,854	5,765,854	△155	△7,214,376	83,882	△2,742	81,140
四半期利益	-	-	-	△152,759	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	27,425	27,425
四半期包括利益合計	-	-	-	△152,759	-	27,425	27,425
新株の発行	16,552	16,552	-	-	△16,105	-	△16,105
株式報酬取引	-	-	-	-	4,380	-	4,380
所有者との取引額合計	16,552	16,552	-	-	△11,725	-	△11,725
2015年3月31日残高	5,822,406	5,782,406	△155	△7,367,136	72,157	24,683	96,840
	親会社の所有者 に帰属する部分						
	合計	非支配 持分	資本合計				
2015年1月1日残高	4,438,316	1,360,138	5,798,454				
四半期利益	△152,759	4,050	△148,708				
その他の包括利益	27,425	△3,095	24,330				
四半期包括利益合計	△125,333	955	△124,378				
新株の発行	17,000	-	17,000				
株式報酬取引	4,380	-	4,380				
所有者との取引額合計	21,380	-	21,380				
2015年3月31日残高	4,334,362	1,361,093	5,695,455				

当第1四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		合計
					新株予約権	在外営業活動体 の換算差額	
2016年1月1日残高	5,828,953	5,788,953	△155	△7,837,526	85,668	△30,519	55,149
四半期利益	-	-	-	△284,263	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	84,706	84,706
四半期包括利益合計	-	-	-	△284,263	-	84,706	84,706
株式報酬取引	-	-	-	-	4,380	-	4,380
所有者との取引額合計	-	-	-	-	4,380	-	4,380
2016年3月31日残高	5,828,953	5,788,953	△155	△8,121,790	90,048	54,187	144,235
	親会社の所有者 に帰属する部分						
	合計	非支配 持分	資本合計				
2016年1月1日残高	3,835,374	1,292,481	5,127,855				
四半期利益	△284,263	12,394	△271,869				
その他の包括利益	84,706	△108,642	△23,936				
四半期包括利益合計	△199,557	△96,248	△295,805				
株式報酬取引	4,380	-	4,380				
所有者との取引額合計	4,380	-	4,380				
2016年3月31日残高	3,640,196	1,196,233	4,836,429				

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	△148,708	△261,987
減価償却費	12,877	13,228
株式報酬費用	4,380	4,380
営業債権及びその他の債権の増減額	△71,861	△79,330
営業債務及びその他の債務の増減額	758	8,243
棚卸資産の増減	1,301	△20,717
金融収益及び金融費用	1,837	109,823
持分法による投資損失	31,274	34,324
その他	△29,292	△29,600
小計	△197,433	△221,636
利息の受取額	1,656	1,583
利息の支払額	△4,609	△9,642
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△200,386	△229,695
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金預入支出	-	△73,211
有形固定資産取得支出	△169,847	△1,240
関連会社への投資による支出	△741,951	-
差入保証金・敷金の増加による支出	-	△450
差入保証金・敷金の減少による収入	5,364	-
貸付金の回収による収入	300	1,666
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△906,134	△73,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	-	△3,425
長期借入金の返済による支出	△3,485	△7,075
長期借入による収入	229,890	75,228
新株予約権の行使による株式の発行による収入	17,000	-
財務活動による正味キャッシュ・フロー	243,404	64,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,150	△30,650
現金及び現金同等物の増減額	△872,267	△268,855
現金及び現金同等物の期首残高	4,461,420	3,022,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,589,153	2,753,864

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(事業セグメント)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、創薬事業会社を営んでおり、国内においては当社が、海外においては連結子会社が管理しております。したがって、当社グループは、研究開発・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「米国」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、創薬事業や受託研究などを行っております。

上記のように決定された報告セグメントにおける主要セグメントの主要製品は次のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
日本	株式会社ジーエヌアイグループ	試薬
中国	北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI-EPS (HONG KONG) HOLDINGS LIMITED、GNI-EPS Pharmaceuticals, Inc.、上海ジェノミクステクノロジー有限公司	アイヌーリュイ、漢方薬など
米国	GNI USA, Inc.	(注) 1

(注) 1 米国において、F351の治験許可(IND)申請を行いました。

## (2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。各報告セグメントの会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

前第1四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結
	日本	中国	米国	合計		
売上収益						
(1)外部顧客への売上収益	8,460	224,181	-	232,642	-	232,642
(2)セグメント間の内部売上収益又は振替高	-	7,191	-	7,191	△7,191	-
計	8,460	231,373	-	239,834	△7,191	232,642
セグメント損失(△)	△87,165	△25,017	△2,961	△115,144	0	△115,144
					金融収益	2,542
					金融費用	△4,831
					持分法による投資損失	△31,274
					税引前四半期利益(△損失)	△148,708

(注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。また、セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

3 セグメント損失は、要約四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結
	日本	中国	米国	合計		
売上収益						
(1) 外部顧客への売上収益	6,367	303,472	-	309,840	-	309,840
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	-	6,828	-	6,828	△6,828	-
計	6,367	310,301	-	316,668	△6,828	309,840
セグメント損失(△)	△82,959	△11,929	△13,086	△107,976	△26	△108,003
					金融収益	5,597
					金融費用	△125,257
					持分法による投資損失	△34,324
					税引前四半期利益(△損失)	△261,987

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。  
2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。また、セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。  
3 セグメント損失は、要約四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。